



学校だより
【3月25日号】

学校の様子⑱ 総社小学校が大切にしているもの…PBIS活動

PBIS活動というのは、英語でつづると

Positive Behavioral Interventions and Supports

訳すとポジティブな行動介入と支援となります。もう少し平たい言い方をすると望ましい行動を増やし、できたら賞賛し、行動を強化するという考えです。

この取組は、総社小学校の大きな柱となっています。大きな打ったてをしたわけでもなく教職員全員が子どもを認めるということ大切に考えているので、たくさんの子もたちのがんばりや優しさが足跡として教室内や廊下に残っています。方法はいろいろですが、子どもたちをしっかりと認めて育てるという点は同じです。この土壌ができてることが総社小学校最大の強みと考えています。2月16日号でご紹介したように、今年度は3学期になって6年生を中心に子どもたちからこの取組をさらに広



げていく活動（子どもくすの葉）が行われました。それを受けて今度は全校にそして、最後は6年生に向けて5年生からメッセージをくすの葉に記しました。教職員も互いに1年間のがんばりを認め合い、くすの葉に記しました。今年度は一年間で1,844枚のくすの葉が茂りました。来年度も引き続き子どもたちのがんばりや優しさを教職員のがんばりをお互いが認め合える総社小学校をめざしていきたいと思います。

めざすところをオールそうじゃみんなで共有するPlan → 仕掛けるDo → がんばりを認めるCheck → 次への意欲をもち、さらなる高みをめざすAction PDCAサイクルの正のスパイラルをつくることで、めざす子ども像へ迫っていきたいと考えています。

校長室より⑳オールそうじゃ

今年度もいろいろな制約の中での一年となり、子どもたちには負担をかけたことを申し訳ないと思います。保護者の皆様にはどんな時も柔軟に対応していただきありがとうございました。まだまだ通常を取り戻すにはしばらく時間がかかりそうですが、今後も子どもたち、保護者の皆様、地域の方々、教職員 オールそうじゃみんなで力を合わせてONE TEAM となって目に見えない不安を少しでも安心にかえていけるようにしていきたいと思っています。一年間いつも温かく見守っていただきありがとうございました。



